

令和元年6月14日

各位

会社名フクビ化学工業株式会社代表者名代表取締役社長八木 誠一郎

(コード:7871 東証・名証第2部)

問合せ先 取締役企画管理本部長 柴田 寿裕

(TEL. 0776-38-8451)

## (訂正・数値データ訂正)「平成31年3月期 決算短信 [日本基準] (連結)」の一部訂正について

当社は、令和元年5月14日に公表いたしました「平成31年3月期 決算短信 [日本基準] (連結)」の記載に一部訂正すべき事項がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。また、訂正後の数値データも送信いたします。

記

#### 1. 訂正の理由

「平成 31 年 3 月期 決算短信 [日本基準] (連結)」の提出後に、記載内容の一部に誤りがあることが判明 いたしましたので、これを訂正いたします。

### 2. 訂正の内容

訂正箇所には、下線を付して表示しております。

サマリー情報

(百万円未満四捨五入)

## 1. 平成31年3月期の連結業績(平成30年4月1日~平成31年3月31日)

### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

#### 【訂正前】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
31年3月期	<u>1, 774</u>	<u>△1, 557</u>	△583	9, 064
30年3月期	87	△533	△545	9, 439

## 【訂正後】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
31年3月期	<u>1, 935</u>	<u>△1, 719</u>	△583	9, 064
30年3月期	87	△533	△545	9, 439

#### 添付資料4ページ

#### 1. 経営成績等の概況

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

### 【訂正前】

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益19億54百万円、減価償却費12億26百万円、および仕入債務の増加額21百万円などの収入に対し、売上債権の増加額3億51百万円、たな卸資産の増加額7億23百万円、および法人税等の支払額6億33百万円などの支出により、合計17億74百万円の収入となりました。前期比では収入が16億86百万円増加しました。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の償還による収入21百万円に対し、機械設備等の有形固定資産の取得による支出15億46百万円などにより、合計で<u>15億57百万円</u>の支出となりました。 前期比では支出が<u>10億24百万円</u>増加しました。

#### (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成27年3月期	平成28年3月期	平成29年3月期	平成30年3月期	平成31年3月期
自己資本比率	57.8%	60.1%	61.6%	62.2%	62.8%
時価ベースの自己資本比率	23. 2%	23.4%	25. 2%	35.6%	24.1%
キャッシュ・フロー対有利子 負債比率	0.2年	0.4年	0.1年	3.1年 (0.1年)	0.2年 (0.1年)
インタレスト・カバレッジ・ レシオ	614. 7	278. 4	484. 1	19.4 (515.4)	<u>376. 6</u> ( <u>862. 9</u> )

### ※( )内は期末休日要因を除いた実質ベースの数値

#### 【訂正後】

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益19億54百万円、減価償却費12億26百万円、および仕入債務の増加額21百万円などの収入に対し、売上債権の増加額3億51百万円、たな卸資産の増加額5億61百万円、および法人税等の支払額6億33百万円などの支出により、合計19億35百万円の収入となりました。前期比では収入が18億48百万円増加しました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の償還による収入21百万円に対し、機械設備等の有形固定資産の取得による支出15億46百万円などにより、合計で<u>17億19百万円</u>の支出となりました。 前期比では支出が<u>11億86百万円</u>増加しました。

#### (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成27年3月期	平成28年3月期	平成29年3月期	平成30年3月期	平成31年3月期
自己資本比率	57.8%	60.1%	61.6%	62.2%	62.8%
時価ベースの自己資本比率	23. 2%	23.4%	25. 2%	35.6%	24.1%
キャッシュ・フロー対有利子 負債比率	0.2年	0.4年	0.1年	3.1年 (0.1年)	0.2年 (0.1年)
インタレスト・カバレッジ・ レシオ	614. 7	278. 4	484. 1	19. 4 (515. 4)	<u>411.0</u> ( <u>897.3</u> )

#### ※( )内は期末休日要因を除いた実質ベースの数値

# 添付資料 12 ページ

# 3. 連結財務諸表及び主な注記

# (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

## 【訂正前】

		(単位:百万円)
	前連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1, 960	1, 954
減価償却費	1, 197	1, 226
減損損失	78	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2	$\triangle 1$
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△410	262
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	24	23
賞与引当金の増減額(△は減少)	△33	32
受取利息及び受取配当金	△99	△109
支払利息	4	5
為替差損益(△は益)	8	13
固定資産圧縮損	_	26
受取保険金	-	△28
投資有価証券評価損益(△は益)	30	0
有形固定資産売却損益(△は益)	△478	0
有形固定資産除却損	7	13
保険差益	-	△7
保険差損	_	20
売上債権の増減額(△は増加)	△2, 131	△351
たな卸資産の増減額(△は増加)	△16	<u>△723</u>
仕入債務の増減額(△は減少)	80	21
その他	159	△257
小計	382	<u>2, 118</u>
利息及び配当金の受取額	99	109
利息の支払額	$\triangle 4$	$\triangle 5$
保険金の受取額	_	184
法人税等の支払額	△389	△633
営業活動によるキャッシュ・フロー	87	<u>1,774</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	-	△20
有形固定資産の取得による支出	△1, 063	△1, 546
有形固定資産の売却による収入	541	<u>△1</u>
投資有価証券の売却及び償還による収入	0	21
その他	△11	<u>△11</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー	△533	<u>△1,557</u>

	*************************************	(単位:百万円
	前連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日)
業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1, 960	1, 95
減価償却費	1, 197	1, 22
減損損失	78	
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2	Δ
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△410	26
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	24	6
賞与引当金の増減額 (△は減少)	$\triangle 33$	
受取利息及び受取配当金	△99	△10
支払利息	4	
為替差損益(△は益)	8	
固定資産圧縮損	-	
受取保険金	_	Δ
投資有価証券評価損益(△は益)	30	
有形固定資産売却損益(△は益)	△478	
有形固定資産除却損	7	
保険差益	_	Δ
保険差損	_	
売上債権の増減額(△は増加)	△2, 131	$\triangle 3$
たな卸資産の増減額 (△は増加)	$\triangle 16$	<u>\triangle 5</u>
仕入債務の増減額(△は減少)	80	
その他	159	$\triangle 2$
小計	382	2, 2
利息及び配当金の受取額	99	1
利息の支払額	$\triangle 4$	
保険金の受取額	-	1
法人税等の支払額	△389	$\triangle 6$
営業活動によるキャッシュ・フロー	87	1,9
資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	-	Δ
有形固定資産の取得による支出	$\triangle 1,063$	$\triangle 1, 5$
有形固定資産の売却による収入	541	
投資有価証券の売却及び償還による収入	0	
その他	△11	<u>△1</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー	△533	<u>△</u> 1, 7

### 添付資料 14 ページ

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

### 【訂正前】

前連結会計年度(自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				連結財務諸表
	建築資材	産業資材	計	調整額 注1	計上額 注2
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	28, 926	11, 251	40, 177	_	40, 177
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	_	_	_	l	_
計	28, 926	11, 251	40, 177		40, 177
セグメント利益	2, 564	727	3, 291	△1, 929	1, 361
セグメント資産	23, 452	9,916	33, 367	<u>15, 158</u>	<u>48, 526</u>

- (注) 1. (1) セグメント利益の調整額△1,929百万円は、主に提出会社の管理部門に係る人件費及び経費であります。
  - (2) セグメント資産の調整額15,158百万円は、主に提出会社の余資運用資金(現預金)、長期投資資金(投資有価証券)等および管理部門に係る資産であります。

## 【訂正後】

前連結会計年度(自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日) (単位:百万円)

		報告セグメント			連結財務諸表
	建築資材	産業資材	計	調整額 注1	計上額
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	28, 926	11, 251	40, 177	_	40, 177
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	_		_	_	_
計	28, 926	11, 251	40, 177		40, 177
セグメント利益	2, 564	727	3, 291	△1, 929	1, 361
セグメント資産	23, 452	9,915	33, 367	14, 899	48, 266

- (注)1. (1)セグメント利益の調整額△1,929百万円は、主に提出会社の管理部門に係る人件費及び経費であります。
  - (2)セグメント資産の調整額14,899百万円は、主に提出会社の余資運用資金(現預金)、長期投資資金(投資有価証券)等および管理部門に係る資産であります。